

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 22日

事業所名 児童デイサービス ぽっけ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングでの情報の共有・モニタリングの際は前職員が参加できるようにしている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	保護者が児童をお迎えに来所する際、情報交換の時間を十分に設定し、ご意向の把握に努め改善に繋げるようにしている	保護者向け評価表は今回より開始し、業務改善に活用していきたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		3月22日までに公開予定
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後第三者評価を実施できるように努める
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今後実施できるように努めたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者が児童をお迎えに来所する際、情報交換の時間を十分に設定し、ご意向の把握に努め改善に繋げるようにしている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	ケースバイケースで対応するように努めている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	状況に応じて、その時々を急を要する支援を優先し、児童が置かれている環境に応じて支援内容を設定している	今後ガイドラインに示される項目を加味して設定できるように努めていく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		設定した計画外に、急を要する事項が生じた場合は臨機応変な対応を心掛けている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		立案は全職員が参加して会議を設定し共有している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		行動パターンに変化が生じたりするので、一過性かの見極めをしながら対応している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		集団活動に適応できるように支援しながら、個別に必要な計画を作成している	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		集団活動の場合、児童の希望を確認しながら実施しているが、その時々に対応にながらぬので、計画性が持てるように改めていきたい
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		前日の児童の状況を、職員のミーティングで確認し、共有するように努めている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		日々の記録を徹底するように心がけているが、勤務時間の都合上出来ない場合があるので、改善していきたい
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6月に一回のモニタリング会議は実施しているが、日々の変化は職員間で共有はしているものの計画変更作成には至っていないので、その都度計画書の作成に努めたい
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者や関係機関からの発信による会議の設定には必ず参加している	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		医療的ケアが必要な児童の利用がない
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な児童の利用がない
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて会議が設定される場合は必ず参加している	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じ、相談支援事業所からの要請により実施している	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		方法などを模索しながら連携できるように努めていきたい
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	公園などへ出かける機会を多く設定し、地域の児童たちとの交流の機会を心掛けている	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		情報がある場合に参加している	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動の連絡帳以外に、口頭でも伝達するようにコミュニケーションの時間を多く設定している	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	児童に対する療育は保護者の意向を主とした対応をしていて、家族支援プログラムは設定していない	今後方法を検討し、実施できるように努めたい
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に行っている	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		事業所の環境に応じて出来る対応により計画を設定し、保護者からの同意を得ている	説明に不十分なこともあると思うので、改善に努めていきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		情報交換から表出する保護者の悩み等を聞くことで、少しでも解消できるように努めている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		お勤めのご都合等により参加が出来ないとのご意見もあったので設定に躊躇していたが、希望している保護者もあるので定期的に実施していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事等の活動状況を写真を掲載して定期的に広報を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員に守秘義務の誓約書に署名をせしめると共に、ミーティングで時々確認している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言語による表現が困難な児童などの場合は、観察を怠らず表情の変化を注視している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	機会があれば、地域の催事には参加している	地域の皆さんを招待出来るような行事などを今後は検討していきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルは作成していないが、感染予防の手あらいやうがいは徹底している	マニュアル作成に努めたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		6月に1回の避難訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント表に記載欄を設定し記録に残している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		対象児の利用があれば徹底していきたい
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所の環境とによるヒヤリハットが発生した場合は、マニュアルに追加するよに努めている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待対策資料の読み合わせ等により確認した	チェック表などを実際に確認しながら予防等の対策が出来るように努めていきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束は徹底して行っていない	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。